

PowerChute Serial Shutdown for Business v1.1

本商品は、コンピュータ本体装置に接続された高機能無停電電源装置(シュナイダーエレクトリック株式会社製 Smart-UPSシリーズ)と組み合わせて使用する電源管理ソフトウェアです。

UPSの状態監視やスケジュール運転などの機能があります。

不慮の停電や電源異常が発生し、UPSがバッテリー運用になった時に、安全にアプリケーションを終了し、OSをシャットダウンしてからコンピュータの電源を切断することができます。

毎日決まった時刻にコンピュータの電源をON/OFFするスケジュール運転も可能です。



PowerChute™ WTJPLVSE020480L
 —SERIAL SHUTDOWN APCUPS

www.apc.com | ログオフ | バージョン情報 | ヘルプ

クイックステータス
 日本語

Smart-UPS 500 PowerChute シャットダウン エネルギー管理 ログ

UPSステータス

- システムステータス

デバイスステータス	オンライン (グリーンモード)
UPS負荷	0.0 %
ランタイム残り時間	383 分
内部温度	34.6°C/ 94.3°F
負荷電力	0.0 % VA
負荷電流	0.0 A
UPS LCDは読み取り専用です	いいえ

+ 電源ステータス

+ バッテリーステータス

+ コンセントグループのステータス

適応機種 概要

- PCSSエージェント(Linux)

PRIMERGY

-
- PCSSエージェント(Windows)

PRIMERGY / FMV

- **PCSSエージェント(Linux)**

Red Hat Enterprise Linux 9 (for Intel64) / Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64)

- **PCSSエージェント(Windows)**

Windows 11(64-bit) / Windows 10(64-bit) / Windows Server 2022(64-bit) / Windows Server 2019(64-bit)

1. 電源障害時の自動シャットダウン機能

PowerChute Serial Shutdown (以降PCSSと略) エージェントは、電源に障害が発生した時点でUPSがバッテリー運転に切り替わり、設定時間を経過しても電源が復旧しない時、自動的にコンピュータのシャットダウンを行います。

自動シャットダウンが行われた後UPSはスリープ状態になり、その後、外部電源が正常に復旧した場合は、設定された条件に従ってUPSからの電源供給が再開し、コンピュータの再起動が行われます。

2. スケジュールシャットダウン機能

Webブラウザのスケジュールシャットダウン画面より、コンピュータの自動シャットダウンを、日、週、1回のみ、のいずれかより選択して登録することができます。

3. リモート管理機能

ネットワーク上の任意の端末からWebブラウザでアクセスし、各種設定を参照/変更することができます (Webインターフェース)。

特別な専用アプリケーションを必要とせず、SSLで暗号化されたインターフェースを使用できるため、便利で安全です。

Webインターフェース画面は日本語と英語の表示を任意に切換え可能です。

(1) Linuxの場合

インストール時に一部分が日本語で表示されます。インストール後、Webインターフェースを英語に切替えて運用可能です。

(2) Windowsの場合

日本語OSへ本製品をインストールすると、日本語で表示されます。

英語OSへ本製品をインストールすると、英語で表示されます。

4. 通知機能

・電子メール(E-Mail)

電源障害やシャットダウン等の電源関連イベントが発生した際、管理者および指定したユーザに、E-Mailによる通知をすることができます。

これにより、コンピュータに接続しているユーザーに対して、事前にコンピュータのシャットダウンを予告することが可能です。

メールサーバへの接続時にベーシック認証を有効にすることができます。

通知メールをSSL/TLSを利用し暗号化して送信できます。

メールサーバの設定に合わせ、接続するポート番号も 25, 465, 587, 5000 ~ 32768 の範囲で設定可能です。

・Simple Network Management Protocol (SNMP) エージェント

インストール後に「PowerChute - SNMP設定」で、SNMPエージェント機能を有効化できます。

この時に、SNMPエージェントが使用するポート番号(初期値は161)を登録します。

SNMPマネージャーから、PCSSの設定や状態を参照/変更する事が可能です。

PCSSからSNMPマネージャーに対し Trapによる通知を行う事も可能です。

通知先のポート番号(初期値は162)も変更可能です。

SNMP通信プロトコルのバージョンは、v1 と v3の両方が使用できます。

SNMP v3を使用する事で、通信の認証と暗号化が可能になります。

SNMPのMIBファイル「powernet[版数値].mib」は PCSSのインストール先に格納されています。

5. ロギング機能

PCSSエージェントでは電源状態やUPSの動作に関する以下の2種類の情報をロギングします。

- (1) イベントログ:UPSが検出した電源関連イベントやエージェントの動作を記録します。
 - (2) データログ:電源電圧や周波数、バッテリー電圧、UPSの温度を記録します。
-

6. コンセントグループ機能

コンセントグループ機能を持つUPSとの組合せでのみ使用できます。

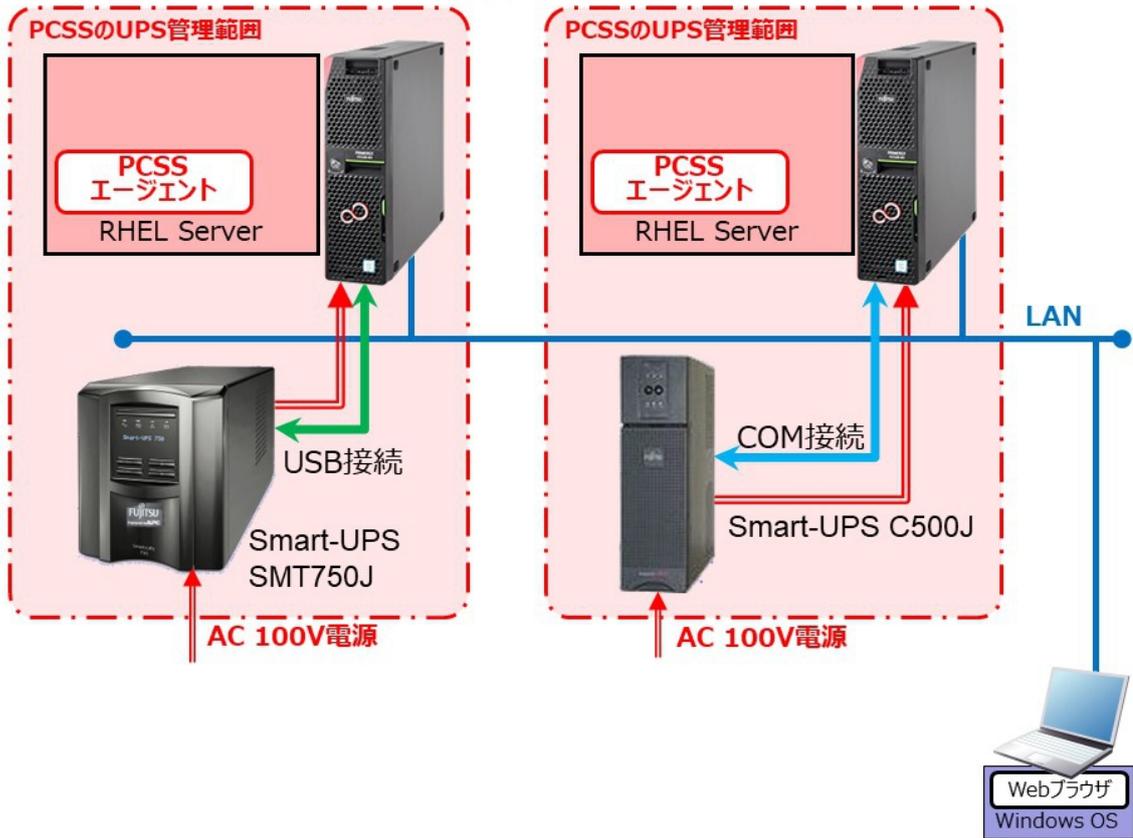
コンセントグループ間で、時間差を設けた電源制御が行えます。

周辺機器もコンピュータが接続された同一のUPSに接続した運用ができます。

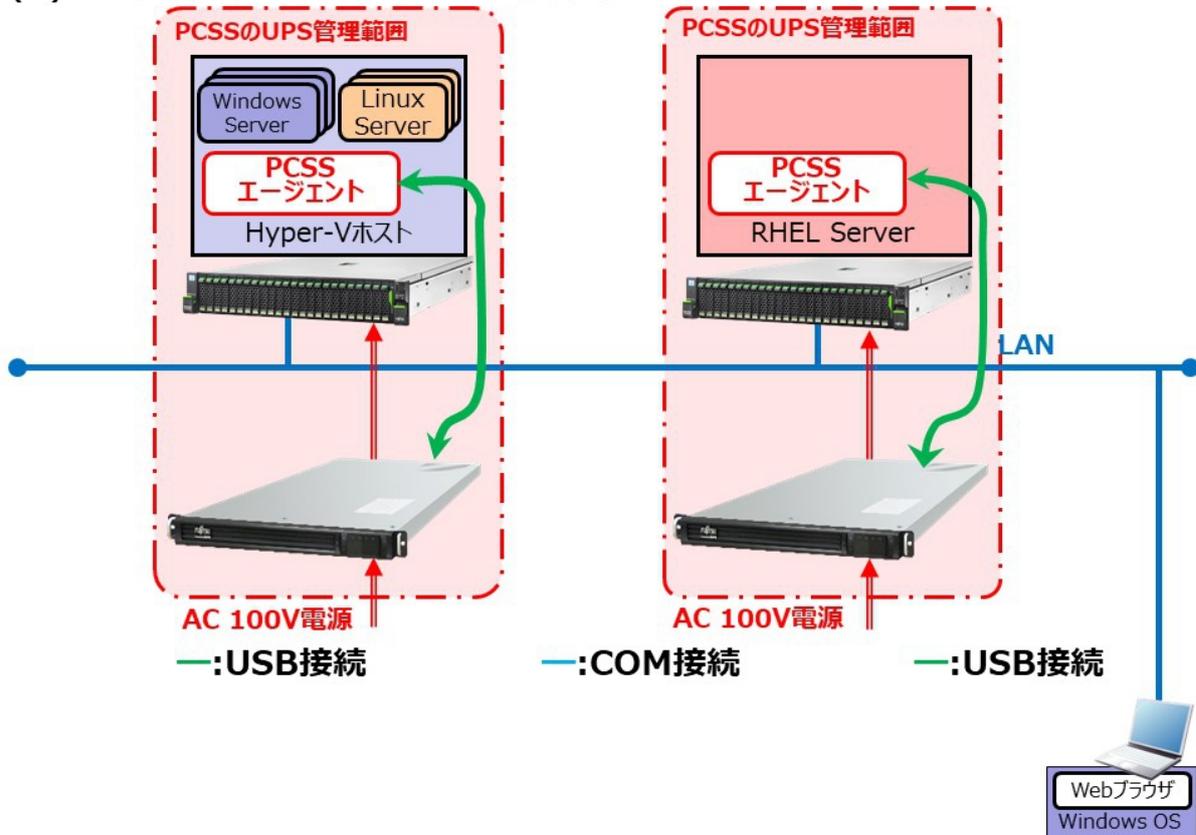
なお、UPSの機種により、操作可能なコンセントグループの数が異なります。

Smart-UPS C500J、Smart-UPS SMT750J では使用できません。

(1) 基本構成 – UPSとの1対1接続例



(2) 基本構成 – UPSとの1対1接続例



PowerChute Business Edition v10からPowerChute Serial Shutdown for Business v1.1の機能強化項目は以下のとおりです。

1. Adoptium OpenJDK採用

Oracle OpenJDK から Adoptium OpenJDK に変更されました。

2. PowerChuteカスタマーエクスペリエンス向上プログラム (CEIP)

構成と使用情報を収集し暗号化した後、シュナイダーエレクトリック社に送信する機能が追加されました。

3. ブラウザでのアクセスをイベントログに記録

ブラウザからのアクセスをイベントログに記録するようになりました。

4. ブラウザ接続時のアカウントロック

Webブラウザで3連続ログオンに失敗すると、約2分間ログオンできないようにアカウントロックがかかるようになりました。

5. 複数ブラウザからの多重ログオン抑止

PCSSエージェントに対し、複数の異なるブラウザからの同時ログオンを抑止できるようになりました。

標準添付品

- オンラインマニュアル
 - リリースノート
 - インストールガイド
 - ユーザズガイド
 - UPSSleep ユーティリティ (PowerChute REST インターフェース)
-

• その他の添付品

- (1) Smart-UPS用シリアルケーブル (1.8m) (黒色:940-0625A) 1本
- (2) Smart-UPS用USBケーブル (2m) 1本
- (3) CD-ROM: 1枚

1. 本商品の購入方法

- ・基本構成

UPSとコンピュータとの1対1の構成を指します。

この場合、本商品を1本購入してください。

- ・追加構成 (Dual port シリアルインターフェース拡張カード)

基本構成に、Dual port シリアルインターフェース拡張カード(PY-UPS02)を追加し、これを介してサーバ機を増設する構成を指します。

Dual port シリアルインターフェース拡張カードで管理するサーバ台数分、本商品を追加購入してください。

- ・ライセンス製品なし

本商品はUPS用接続ケーブル同梱製品のため、ライセンス製品の販売はありません。

2. UPS接続用ケーブルについて

- ・ケーブル単独販売なし

Smart-UPS用COMケーブルと、Smart-UPS用USBケーブルの単独販売は行っていません。予備のケーブルが必要な場合は、本商品を追加購入してください。

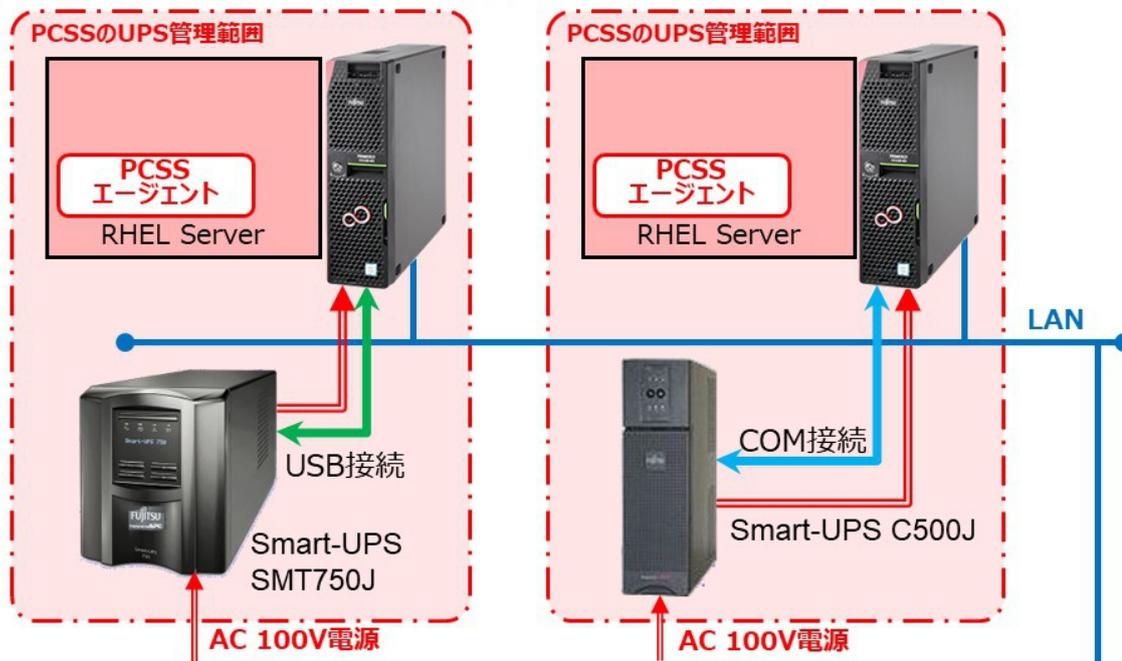
- ・1本のみ使用可

製品には、2本のケーブルが同梱されていますが、ご使用いただけるのは、いずれか1本のみです。

3. 購入例

以下に代表的な購入例を示します。システムの構成に応じて、あらかじめ必要となるハードウェア、ソフトウェアを確認してください。

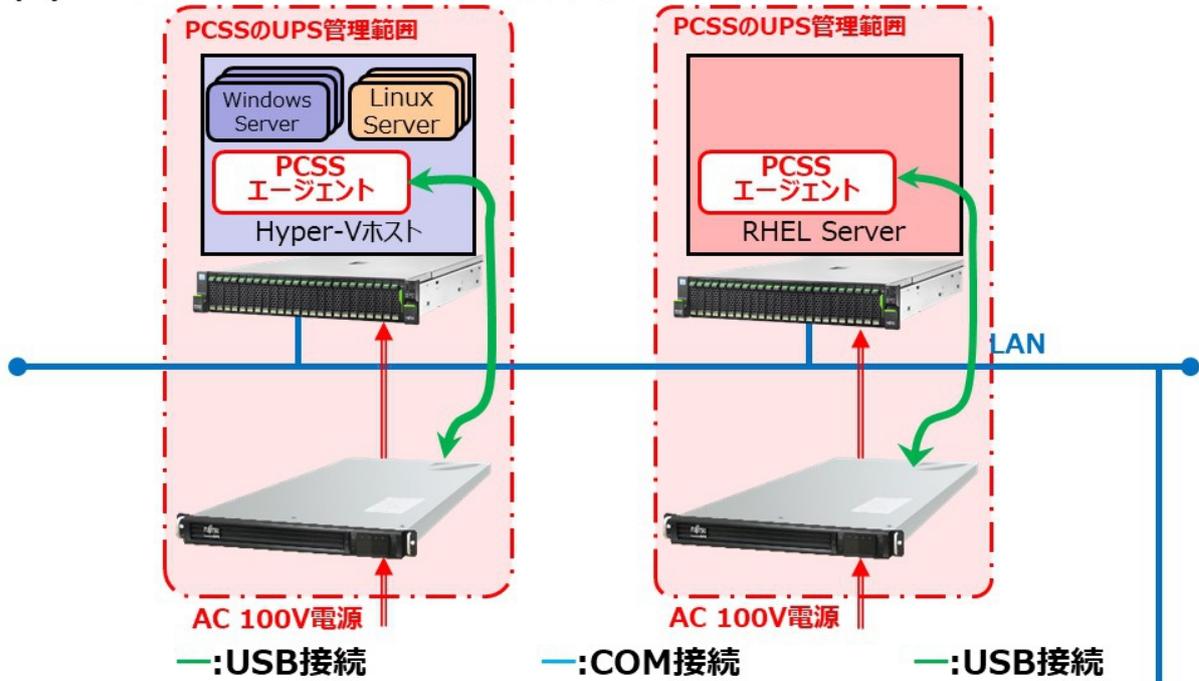
(1) 基本構成 – UPSとの1対1接続例



購入ソフトウェア製品	本数
PowerChute Serial Shutdown for Business v1.1	2

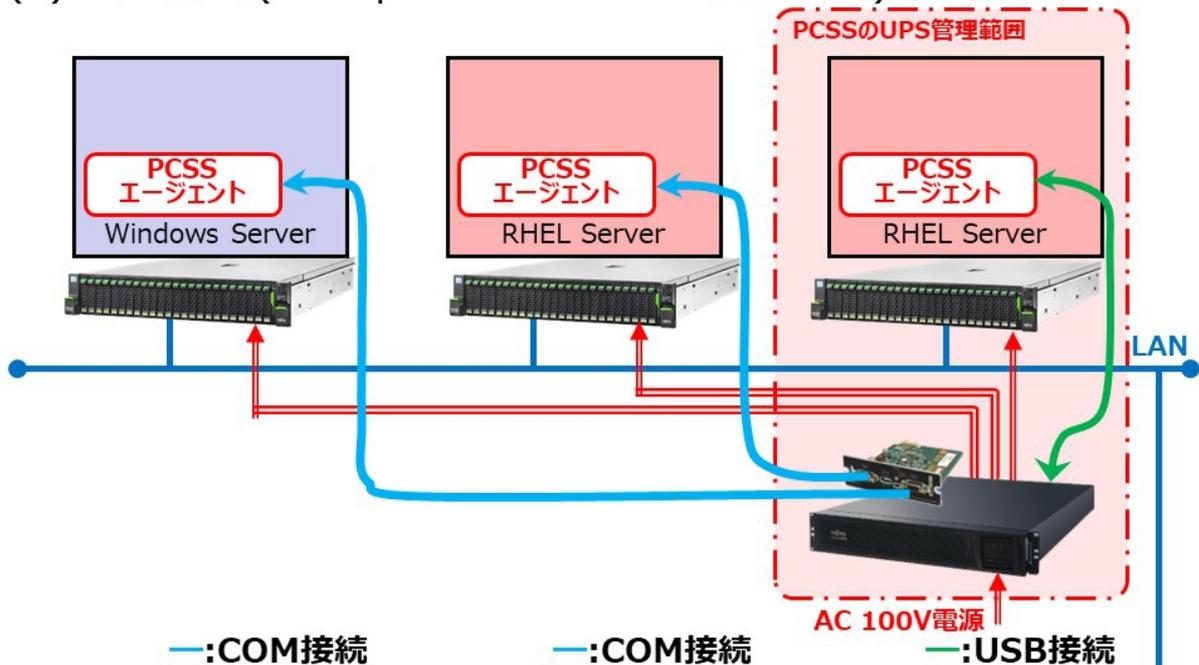


(2) 基本構成 – UPSとの1対1接続例



購入ソフトウェア製品	本数
PowerChute Serial Shutdown for Business v1.1	2

(3) 追加構成 (Dual port シリアルインターフェース拡張カード)



購入ソフトウェア製品	本数
PowerChute Serial Shutdown for Business v1.1	3

4. 1台のUPSへの複数サーバ接続

Dual portシリアルインターフェース拡張カード(PY-UPS02)を使用することで、1台のUPSへ最大3台のサーバを接続できます。

停電時はUPSのバッテリー容量で複数台のサーバ機をシャットダウンする時間が充分かの検討が必要です。

Dual port シリアルインターフェース拡張カードを使用する場合、管理するサーバ台数分、本商品を追加購入してください。

1. PowerChute Network Shutdown for Windows & Linux v5.0

1台のサーバに対して複数のUPSを接続する冗長UPS構成を組む場合は、PowerChute Network Shutdown for Windows & Linux v5.0を使用してください。

1台のUPSで4台以上のサーバを管理する場合も、PowerChute Network Shutdown for Windows & Linux v5.0を使用してください。

詳細は、PowerChute Network Shutdown for Windows & Linux v5.0のソフトウェアガイドをご覧ください。

2. PowerChute Network Shutdown for Virtualization v5.0

仮想化環境で利用する場合は、PowerChute Network Shutdown for Virtualization v5.0を使用してください。

詳細は、PowerChute Network Shutdown for Virtualization v5.0のソフトウェアガイドをご覧ください。

3. RHELのKVM環境について

RHELのKVM環境で利用時は、PowerChute Network Shutdown for Windows & Linux v5.0をご使用ください。

詳細は、PowerChute Network Shutdown for Windows & Linux v5.0のソフトウェアガイドをご覧ください。

1. 高機能無停電電源装置(UPS)

【PRIMERGY】

当社が販売している以下のUPSをサポートします。

- Smart-UPS C500J (PY-UPAT503)
- Smart-UPS SMT 750J (PY-UPAT752)
- Smart-UPS SMT 1500J (PY-UPAT152)
- Smart-UPS SMT 1200RMJ (PY-UPAR122)
- Smart-UPS SMT 1500RMJ (PY-UPAR152)
- Smart-UPS SMX 3000RMJ (PY-UPAC3K2)

2. Dual port シリアルインターフェース拡張カード

PRIMERGYと接続するためのカードです。

Dual port シリアルインターフェース拡張カード(PY-UPS02)は、下記のUPSと組み合わせて使用できます。

- Smart-UPS C500J(PY-UPAT503)
- Smart-UPS SMT 750J(PY-UPAT752)
- Smart-UPS SMT 1500J(PY-UPAT152)
- Smart-UPS SMT 1200RMJ(PY-UPAR122)
- Smart-UPS SMT 1500RMJ(PY-UPAR152)
- Smart-UPS SMX 3000RMJ(PY-UPAC3K2)

PCSS v1.1 が必要です。

3. 動作保証外となる周辺機器

- 電源制御ボックスには対応していません。
- 200V用UPSには対応していません。PowerChute Network Shutdown(以後、PCNS) をご使用ください。
- ネットワークマネジメントカード(以後、NMC)(PY-UPC03)は、PCNS専用です。

1. Intel64環境での動作について

本商品は、以下のディストリビューションの環境では、64ビットで動作します。

- Red Hat Enterprise Linux 9 (for Intel64)
- Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64)

2. サポート対象OSと製品版数について

下記の組合せのみサポート対象となります。

- Red Hat Enterprise Linux 9.5 (for Intel64)
- Red Hat Enterprise Linux 9.4 (for Intel64)
- Red Hat Enterprise Linux 9.3 (for Intel64)
- Red Hat Enterprise Linux 9.2 (for Intel64)
- Red Hat Enterprise Linux 9.1 (for Intel64)
- Red Hat Enterprise Linux 9.0 (for Intel64)
- Red Hat Enterprise Linux 8.10 (for Intel64)
- Red Hat Enterprise Linux 8.9 (for Intel64)
- Red Hat Enterprise Linux 8.8 (for Intel64)
- Red Hat Enterprise Linux 8.7 (for Intel64)
- Red Hat Enterprise Linux 8.6 (for Intel64)
- Red Hat Enterprise Linux 8.5 (for Intel 64)
- Red Hat Enterprise Linux 8.4 (for Intel 64)
- Red Hat Enterprise Linux 8.3 (for Intel 64)
- Red Hat Enterprise Linux 8.2 (for Intel 64)
- Red Hat Enterprise Linux 8.1 (for Intel 64)
- Red Hat Enterprise Linux 8.0 (for Intel 64)

3. Adoptium OpenJDKの定期アップデート

製品に同梱の Adoptium OpenJDK はアップデートが提供されます。

セキュリティ脆弱性問題などへの対応も、このアップデートで対応されるため、安全な運用を継続するためには、最新の Adoptium OpenJDKを入手頂き、製品に適用してください。

製品はAdoptium OpenJDK LTS 17版が同梱されています。

Adoptium OpenJDK LTS 17版以外の版数にアップデートしないでください。

Adoptium OpenJDKの適用方法については、製品のオンラインマニュアルを参照してください。

Adoptium OpenJDKのアップデートは各OS用の64ビット版を使用してください。

4. Webブラウザでの接続

Microsoft Edge、Mozilla FireFox、Google Chrome が使用できます。

接続には、下記を入力し、ログインしてください。

https://《ホスト名 or IPアドレス》:6547/

初回のWebブラウザ接続時に、初期セットアップの設定が必要です。

5. スケジュール時間の制限事項

スケジュール設定可能な最大時間は、359.8時間(14日と23.8時間)です。

6. サポート対象外となるコンピュータ

COMポートやUSBポートによる通信が行えないブレードサーバなど、一部本商品が利用できないコンピュータがあります。

事前に、PRIMERGYのシステム構成図をご確認ください。

7. 運用中にIPアドレスが変わる環境はサポート対象外

DHCP環境など、電源管理の対象となるコンピュータの運用中にIPアドレスが変更される可能性のある環境ではご使用になれません。

電源管理の対象となるコンピュータは、必ず固定IPアドレスで運用するようにしてください。

8. IPv6環境での運用

IPv4/IPv6 デュアルスタック環境で運用できます。

PCSSエージェントはIPv4とIPv6の両方に対応しています。

9. 200V用UPSはサポート対象外

200V用UPSにもCOMポートが搭載されています。

これは標準搭載のNMCを設定するためのものです。

200V用UPSでは、ネットワーク経由での通信に対応したPCNSをご利用ください。

10. UPS複数台構成はサポート対象外

本製品では複数のUPSによる構成をサポートしていません。

1台のサーバ機に対して複数のUPSを接続する場合は、NMCおよびPCNSをご使用ください。

11. UPSのUSB接続

・コンピュータとUPSの1対1の基本構成に限定されます。複数のUSBポートに複数台のUPSを接続してPCSS から使用することはできません。

・UPS本体はCOMケーブルとUSBケーブルとの同時接続は行えません。更に運用中の切替えも行えません。

12. Dual port シリアルインターフェース拡張カード使用時の注意点

・PRIMERGYと接続するためのカードです。FMVと組み合わせてご使用頂けません。

・Dual port シリアルインターフェース拡張カード(PY-UPS02)を使用することによって、1台のUPSにつき最大3台までのサーバ機を接続することができます。

・必ずUPS本体側のポートにはPCSSエージェントがインストールされたサーバが常に接続されている状態にしてください。

拡張カード側のみにサーバ機を接続した場合、シャットダウン時に予期せぬ動作をすることがあります。

・Smart-UPS用のケーブルと組み合わせて使用できません。

組み合わせて使用すると、シャットダウン時に予期せぬ動作をすることがあります。

・スケジュール運転はUPS本体側のポートに接続したPCSSエージェントでのみ登録と実行が可能です。

13. 電源障害時の通知機能

電源障害発生時にE-MailやSNMPトラップによる通知機能を利用するには、ネットワークハブやメールサーバの電源がUPSで保護されている必要があります。

14. 関連商品とその特徴

PCSSとPCNS+NMCとの機能差を確認し適切な製品を選択してください。

PCSS と PCNS+NMCとの機能比較(1/3)

製品 項目	PowerChute Serial Shutdown (PCSS)	PowerChute Network Shutdown (PCNS)
対象UPS	Smart-UPS C500J (AC100V) Smart-UPS SMT/SMX (AC100V)	Smart-UPS C500J (AC100V) Smart-UPS SMT/SMX (AC100V) Smart-UPS RT (AC200V)
UPS用 オプション	Dual portシリアルインターフェース拡張カード	ネットワークマネジメントカード(NMC) (Smart-UPS RTは標準搭載)
接続形態	専用のCOMケーブルか、USBケーブルでUPSと接続されたコンピュータの電源管理を行うことができます。 Dual portシリアルインターフェース拡張カードを使用することで、最大3台までのPCサーバを接続することができます。	UPSに搭載されたNMCと組み合わせ電源管理を行うことができます。 1つのNMCには、PCNSがインストールされたサーバのIPアドレスを最大50個登録できます。
適応 コンピュータ	PCサーバ (AC100V) ESPRIMO (AC100V)	PCサーバ (AC100V/AC200V) ブレードサーバ (AC100V/AC200V) 基幹IAサーバ (AC100V/AC200V)
インター フェース	Webインターフェース (日本語/英語)	Webインターフェース (日本語/英語)
購入方法	UPSとサーバの接続単位分、PCSS製品の購入が必要です。	電源管理の対象となるサーバ機の台数分、PCNS製品の購入が必要です。 AC100V用のUPSの台数分、ネットワークマネジメントカードの購入が必要です。

PCSS と PCNS+NMCとの機能比較(2/3)

製品 項目	PCSS	PCNS + NMC
電源障害時の 自動シャットダウン	○:設定方法：2種類 ・シャットダウン設定、 ・イベントアクションの設定	○:設定方法：1種類 ・イベントアクションの設定
スケジュール シャットダウン	○:PCSS単体で登録と実行が可能	○:NMCにスケジュールを登録 NMCからの通知を受けPCNSが実行
一括設定	×:pcssconfig.iniの複製	○:pcnsconfig.iniの複製
モニタリング	○:Webブラウザ (PCSSエージェント単体の監視)	○:Webブラウザ (PCNS/NMC単位での監視)
通知 機能	SNMP エージェント PCSS ○:SNMPv1 ○:SNMPv3	PCNS ○:SNMPv1 ○:SNMPv3 NMC ○:SNMPv1 ○:SNMPv3
	E-mail ○:PCSSエージェント	×:PCNS ○:NMC
ロギング	○:PCSS：2種類 (イベントログ/データログ)	○:PCNS：2種類 (イベントログ/エラーログ) ○:NMCのログ：2種類 (イベントログ/データログ)

○：対応 ×：未対応

項目	製品	PCSS	PowerChute Network Shutdown	
			for Windows & Linux	for Virtualization
UPS1台への物理サーバ登録		1~3台	1~50台	
UPSのグループによる管理		×	○:高度なUPS構成:シングルUPS/UPSグループ	
UPS冗長構成		×	○:冗長 N+1(N: 1~3) ○:高度なUPS構成:UPSグループ N+M(1≤N ^ 1≤M)	
仮想環境	対応仮想化機構 ・ホストOSのシャットダウン	×:KVM ○:Hyper-V ×:VMware ×:Nutanix	○:KVM ×:Hyper-V ×:VMware ×:Nutanix	×:KVM ○:Hyper-V ○:VMware ○:Nutanix
	統合運用管理リト連携 ・ホストOSのシャットダウン ・ゲストOSのシャットダウン ・ゲストOSの移行 ・ゲストOSの起動 ・ゲスト間クラスタ構成	×:KVM ×:Hyper-V ×:VMWare ×:Nutanix	×:KVM ×:Hyper-V ×:VMWare ×:Nutanix	×:KVM ○:Hyper-V(SCVMM連携) ○:VMware(vCSA, vCenter Server連携) ○:Nutanix(CVM連携)
	起動/終了順序制御	×:ホストOS ×:ゲストOS	○:ホストOS ×:ゲストOS	○:ホストOS(統合運用管理リト連携) ○:ゲストOS(統合運用管理リト連携)
	ゲストOSへの インストール	×:KVM ×:Hyper-V ×:VMware	×:KVM ×:Hyper-V ×:VMWare	×:KVM ×:Hyper-V ○:VMware (PowerChute仮想 アプライアンス)
	仮想アプライアンス同梱	×:VMware	×:VMware	○:VMware(PCNS v4.1~)
	○: 対応 ×: 未対応			

15. 前版との差異

【Webブラウザでの接続】

- ・ Internet Explorer での接続はサポート対象外となります。

16. PowerChuteに関する障害情報等の提供

弊社の運用・保守サービス「SupportDesk」にてご提供する障害情報は、弊社におけるお問い合わせ事例に基づくものです。

お客様システムの安定稼働のために、シュナイダーエレクトリック株式会社から公開されるナレッジ情報の確認もあわせてご確認お願いいたします。

お客様向けURL

- **シュナイダーエレクトリック株式会社 - サポート > 質問回答集(FAQ)**
本商品に関する技術情報またはナレッジ情報は下記から入手することができます。
<https://www.se.com/jp/ja/faqs/home/>
- **PowerChuteシリーズ 各種マニュアル**
製品のマニュアルをダウンロードできます。
<https://www.se.com/jp/ja/faqs/FA281813/>
- **PRIMERGY - UPS(無停電電源装置)商品情報**
PRIMERGY用UPSの商品情報を紹介しています。
<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/peripheral/ups/>
- **PCサーバ PRIMERGY システム構成図**
本商品と組み合わせて使用するサーバ機やUPSの型名と価格、接続条件などを記載しています。
<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/system/>